

～全国47都道府県 約6,300人 コロナ禍における就業実態一斉調査～

## 2021年1月の失業・離職経験者数は8.5%

わずか1カ月余りで2020年の失業・離職経験者数16.6%の半数を超える結果

ディップ株式会社（以下「当社」）のディップ総合研究所は、47都道府県内在住の15～69歳のアルバイト・パートもしくは無職（求職中）の男女6,270人を対象に、新型コロナウイルスの影響による就業状況について調査しましたのでご報告いたします。

### ■調査結果

1. 2021年の失業・離職経験者は8.5%、わずか1カ月余りで2020年の失業・離職経験者数の半数を超える結果
2. 2020年中「シフトが減った」「収入が減った」とともに約4割 そのうち9割が現在も影響継続
3. 今後の就業に「強い不安」がある 4割超。無職、また失業、離職経験者は約6割、次いで離職、失業経験なし約4割が強い不安を抱えている

dip 働く人のリアルがわかる  
ディップ総合研究所

コロナ禍における就業実態  
6,300人一斉調査

# 2021年1月の失業・離職 経験者数は8.5%

4割以上が収入減と回答  
そのうち9割が未だ影響が続いている

失業・離職の  
経験はない  
91.5%

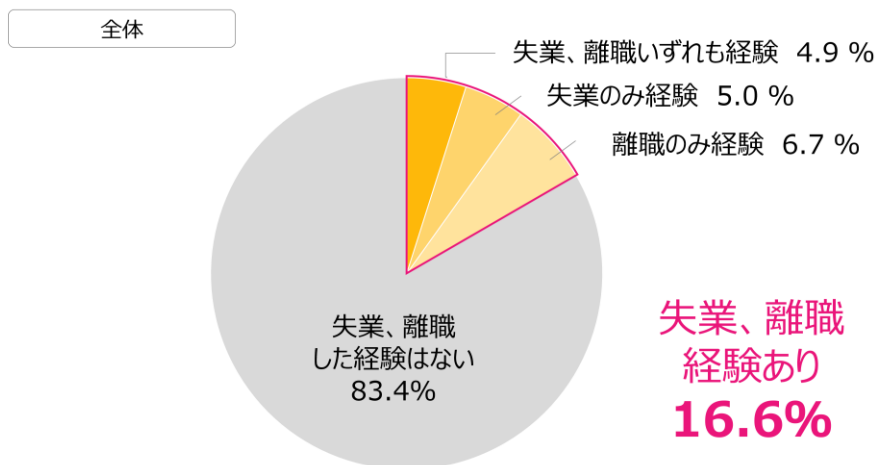
「新型コロナウイルスによる就業への影響調査」：<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=478>

## ■ 調査結果概要

### 1. 2021年の失業・離職経験者は8.5%、わずか1カ月余りで2020年の半数を超える結果 2020年、2021年共に学生は3割超

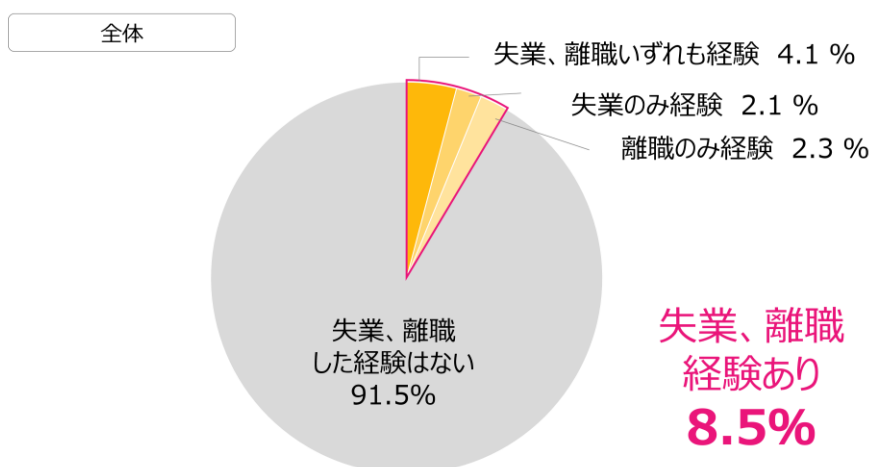
#### 失業、離職の実態 2020年

Q. 新型コロナウイルスによる影響で「就業先都合で失業」「自己都合で離職（育児や介護、出社への不安など）」の経験はありますか。2020年についてお答えください。n=5,523（2020年4月発令時点で就業していた人のみ）



#### 失業、離職の実態 2021年

Q. 新型コロナウイルスによる影響で「就業先都合で失業」「自己都合で離職（育児や介護、出社への不安など）」の経験はありますか。2021年についてお答えください。n=5,523（2021年1月発令時点で就業していた人のみ）



#### 失業、離職の経験がある割合（属性別）

2020年

属性	割合
全体	16.6%
フリーター	11.5%
主婦・主夫	11.6%
学生	30.1%
(現在)無職	37.1%

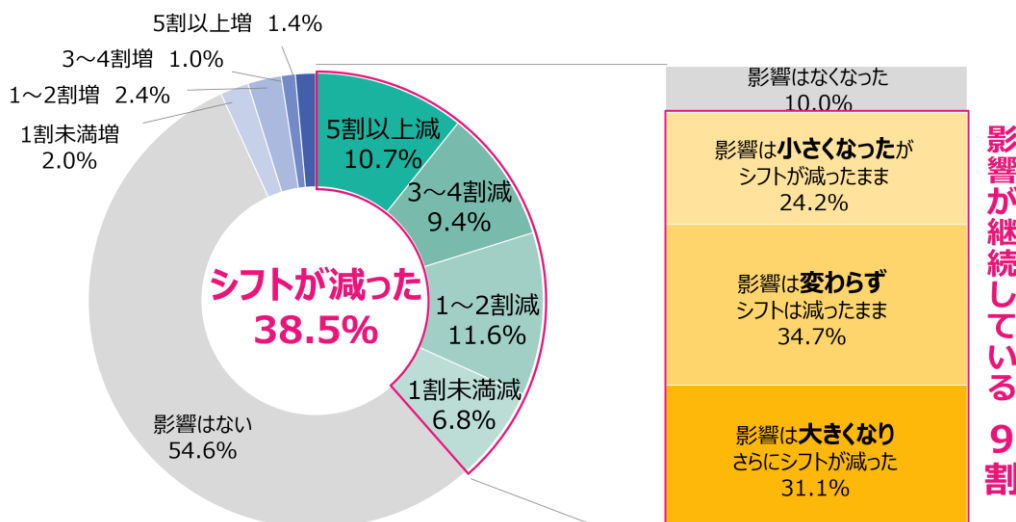
2021年

属性	割合
全体	8.5%
フリーター	6.7%
主婦・主夫	5.2%
学生	30.3%
(現在)無職	16.8%

## 2. 2020 年中「シフトが減った」「収入が減った」共に約 4 割、そのうち 9 割が現在も影響継続

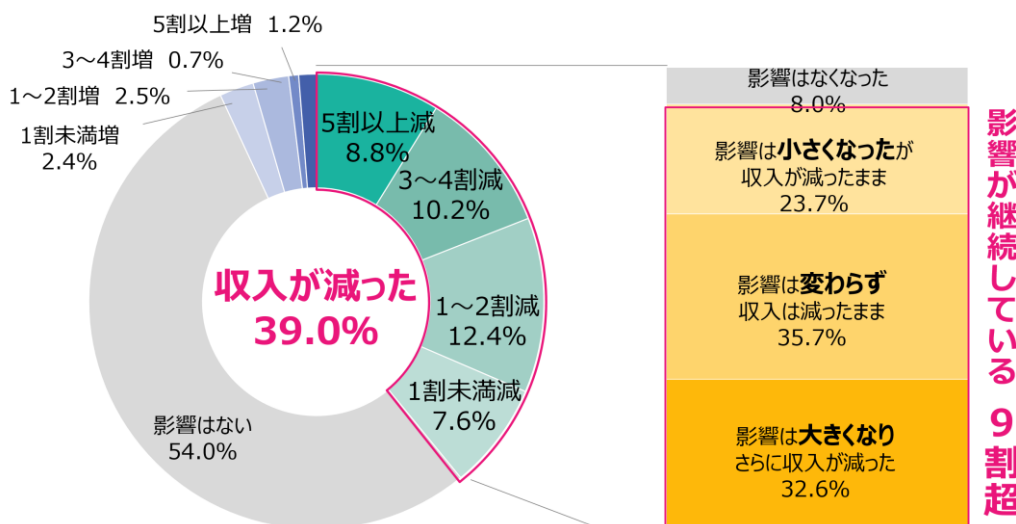
### シフトへの影響と現在の状況

- Q. 昨年（2020年）、新型コロナウイルスによりシフトへの影響はありましたか。複数月にわたり影響があった場合は、最も影響が大きかった1カ月についてお答えください。また、その影響は現在も継続していますか。  
n=4,521（2020年就業し、調査時点まで就業している人のみ）



### 収入への影響と現在の状況

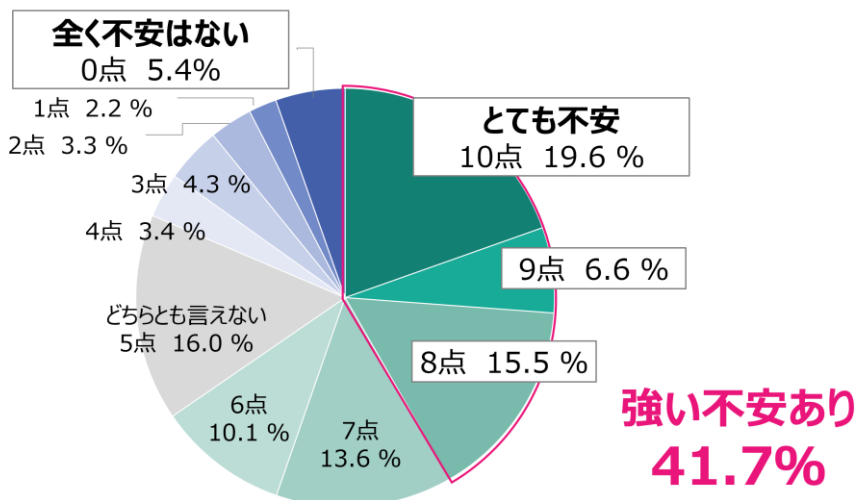
- Q. 昨年（2020年）、新型コロナウイルスにより収入への影響はありましたか。複数月にわたり影響があった場合は、最も影響が大きかった1カ月についてお答えください。また、その影響は現在も継続していますか。  
n=4,521（2020年就業し、調査時点まで就業している人のみ）



### 3. 今後の就業に「強い不安」がある 4 割超 無職の人、または失業、離職の経験者の不安は特に大きく約 6 割

#### 今後の就業への不安

Q. 新型コロナウイルスによる今後の就業への不安度合いはどのくらいですか。 n=6,270



#### 就業に強い不安がある割合 (属性別/失業、離職の経験別)

##### 属性別

属性	割合 (%)
全体	41.7%
フリーター	37.4%
主婦・主夫	34.4%
学生	31.5%
(現在) 無職	56.9%

##### 失業、離職の経験別

失業、離職の経験	割合 (%)
失業、離職した経験はない	38.1%
失業した経験がある	59.2%
離職した経験がある	56.0%

#### ■ 調査結果からわかる新型コロナウイルスによる就業への影響調査と当社の対応

アルバイト・パートもしくは求職中の無職（約 6,300 名）を対象とした本就業実態調査では、2020 年中に新型コロナウイルスの影響によって失業・離職を経験したと回答した人が 16.6%となりました。次いで 2021 年の失業・離職経験者は 8.5%となり、わずか 1 カ月余りで 2020 年の半数を超える結果となっています。さらに 2020 年、新型コロナウイルスの影響により、「シフトが減った」「収入が減った」との回答者は約 4 割にも上り、そのうち 9 割は、現在も「影響が継続している」と回答しています。今後コロナ渦での就業に対する不安に関する質問では、「強い不安がある」と回答した人は 4 割を超えています。内訳を見ると、無職の人、また失業、離職の経験者の不安は特に大きく約 6 割、次いで離職、失業の経験がない人も約 4 割が「強い不安がある」と回答しています。

このような状況下で、「知らなくて給付を受けられていない」ことがないよう、当社では休業支援金についてわかりやく解説をしたページを設置しております。(※) また、多くの選択肢から自分に合った仕事を選べるよう、求人量と質を担保していけるよう引き続き努めてまいります。

※休業手当がもらえなかった… そんなあなたに「新型コロナ対応休業支援金」を解説！

(<https://www.baitoru.com/contents/list/detail/id=2472>)

その他、調査の詳細は下記 URL にて公開しています。

「新型コロナウイルスによる就業への影響調査」：<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=478>

## ■ 調査概要

調査設計・分析：ディップ総合研究所 ディップレポート編集課 川上由加里

調査名：ディップ総合研究所「新型コロナウイルスによる就業への影響調査」

調査手法：インターネット調査（GMOリサーチ「JAPAN CLOUD PANEL」利用）

調査期間：2021年1月29日（金）～2021年2月2日（火）

調査対象者：47都道府県内在住の15～69歳の男女のアルバイト・パート、もしくは無職で求職中の人

有効回収数：6,270サンプル（アルバイト・パートサンプル4,653、無職1,617サンプル）

※当調査結果を引用・転載される際は、下記表記をお願いいたします。

出典：「新型コロナウイルスによる就業への影響調査」（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=478>）

※インターネットメディアへご掲載いただく場合は、ディップ総合研究所TOPページ(<https://www.baitoru.com/dipsouken/>)または、アンケート調査結果ページ（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=478>）のURLを記載ください。

## ディップ総合研究所 概要

ディップ総合研究所は、アルバイト・パート・派遣社員・正社員など働く人すべての気持ちや本音・許容や理想を、調査を通して明らかにするため、2019年1月17日に開設しました。経営層から人事・採用担当者向けに、“採用活動やその後の育成・定着を成功に導く”実践的なコンテンツを提供することで、「採用された人材が活躍し、働く人と企業がともに輝ける社会」の実現を目指します。

ディップ総合研究所：<https://www.baitoru.com/dipsouken/>

## 当社概要

「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」の企業理念の下、“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、『労働力の総合商社』として、人材サービス事業と AI・RPA 事業を提供しています。

社 名：ディップ株式会社

代 表：代表取締役社長 兼 CEO 富田 英揮

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997年3月

資本金：1,085百万円（2020年5月末現在）

従業員数：2,234人（2020年4月1日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトル NEXT」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、RPA サービス「ロボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（市場第1部）

売上高：464億円（2020年2月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

<報道に関するお問い合わせはこちら>

ディップ株式会社 広報担当

TEL：03-6628-4070 e-mail：info@dip-net.co.jp